

台風や大雨などの風水害に備えよう

台風について、気象庁のデータから30年間(1991年～2020年)の平均を見ると、発生・接近・上陸ともに7月～10月に最も多くなります。特に8月は発生件数が年間で一番多い月となります。ただし、台風を流す上空の風がまだ弱いので、台風は不安定な経路をとることが多く、9月以降になると日本付近を通るようになります。9月以降の台風は、秋雨前線の活動を活発にして大雨を降らせることがあり、伊勢湾台風など過去に大きな災害をもたらした台風の多くは9月に発生しています。

地震のような災害とは違い、台風や大雨などの風水害は**ある程度事前の予測が可能**です。発災前に適切な行動をとる事で防げる被害もあります。台風や大雨が多く発生するこれからの時期、自分や大切な人の命を守るために気象情報などに注意し、自ら情報収集することを心がけて災害への備えを再確認しましょう。

情報入手手段の確認

複数の情報入手先を確認し、確実に情報を受け取れるようにしておきましょう。

- ①とばメール…登録制の市の情報配信サービス
- ②緊急速報メール(エリアメール)
※各種携帯電話会社の対応機種を持つ人で、市内にいれば無料で情報を受け取ることができます(登録不要)。
- ③防災行政無線関係(屋外拡声子局スピーカー、聞き直しテレガイドサービス)
※聞き直し電話番号(☎ 0599 ㉔ 2010) 通話料金は利用者負担です。
- ④テレビ(ケーブルテレビ文字放送)、ラジオ、インターネット(防災みえ.jp、気象庁ホームページなど)
- ⑤市ホームページ、市フェイスブック など
- ⑥各種便利な防災アプリ (Yahoo!防災速報、NHKニュース防災アプリ など)



とばメール

非常用持ち出し袋や備蓄の確認

非常用持ち出し袋や備蓄の賞味期限の確認などを行い、いざというときのために備えるようにしましょう。



毎月発行している「だっこだより」におすすめの絵本を紹介しています。0歳児や1歳の誕生日を迎えた子どもにも、絵本を通して読み聞かせをしてほしいという思いからです。

気軽に本に触れる機会が減っている中で、あそびの広場「だっこ」や図書館には絵本がたくさんあります。「どんな本から読んであげたらいいの?」と聞かれることがあります。が、最初は読み手が好きな本から読んであげてみては…と返事をしています。

子どもの年齢に合った絵本の中で、まずは自分が興味を持った絵本からはじめて、次は子どもが興味を持ちそうな絵本・旬の話題・こちらの意図する内容などへ広げていってみてはいかがでしょうか。大人は少し気持ちに余裕を作り、お膝に抱っこして指で絵をなぞったり、動作をまねたりして

Vol.67



絵本の
読み聞かせ

みんなで子育て
だっこで
ほっと

子育て支援センター
☎ ㉔ 7225



だっこだより



りかえし読み聞かせていくと、「次はこの本読んで」と子ども自身が選んだ本を持つて来て、お気に入りが見つかるかもしれません。

また、「だっこ」遊びに来てくれたかたと感想をシェアしてみるのがいいかもしれません。身近な話題や、子育て中ならではの悩みを気軽に話し合える場にしてもらえたら嬉しいです。

あそびの広場「だっこ」には、助産師や保育士もいます。気軽におこしください。あそびの広場「だっこ」でお待ちしています。

総務課防災危機管理室

☎ ㉔ 1118

一人一人が備えてこ!

防災力UP! 鳥羽

vol.122